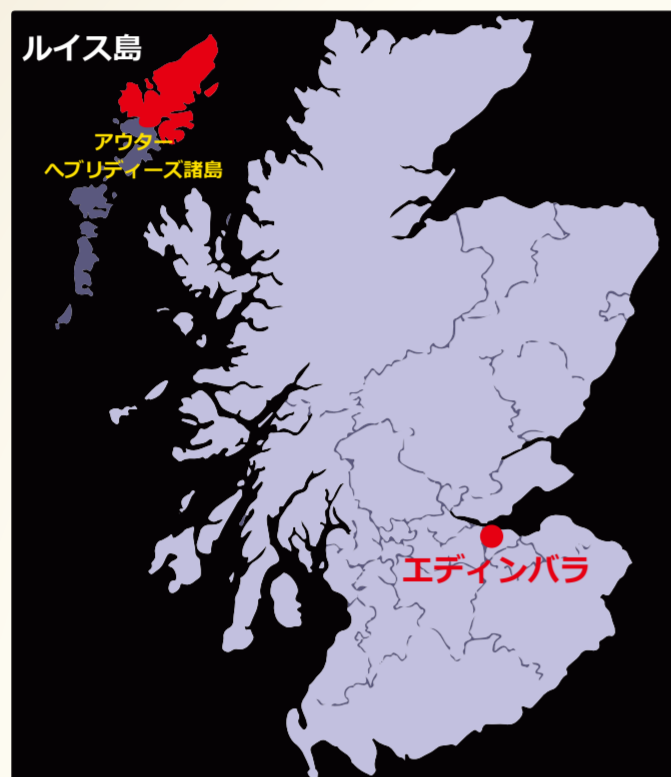


Since 1846



# Harris Tweed



★ハリスツイード (Harris Tweed) とは「アウターヘブリディーズ諸島で染色され紡がれた純粋なバージンウールを使い、島民の家で島民によって手織り ( 人カ織機 ) され、ハリス島、ルイス島、ベングクラ島、サウスト島で仕上げられたツイード」を意味します。そしてハリスツイード協会によって決められた厳しい基準をクリアしたもののみハリスツイードと認められています。また認められたもののみにオーブの商標が与えられています。スコットランド地域の厳しい自然条件の土地で、風や雨から身を守るために織られたこのツイードはざっくりした粗い風合いで羊毛と羊毛の間にたくさんの空気 ( デッドエア ) を含み暖かく厳寒のスコットランドの気候にも耐えられる素材です。また未脱脂のバージンウールなので生地にも油を含み雨を弾く効果や保温性も兼ね備えています。

## ★製法

- せん断： 初夏にスコットランド本土で育った羊の毛を刈り上げる。  
ハリスツイードの特徴でもある、混じりけのないヴァージンウールが使用される。
- 洗浄・染色： 洗浄されたあと染色され、主なツイード制作者の工場へ運ばれる。
- 混合と梳綿： 染色されたウールと白いウールを所定の割合で量り、正確な製法で完璧な色合いをだす為に配合する。  
機械の間で混ぜ合わせ、梳綿される。
- 紡績： 紡績された柔らかい糸が織ることができるようにねじることで強度を増す。その糸をボビンに巻き取る。
- 整経： 縦糸を一束にまとめ大梁に巻き付け、縦糸と共に織工に届けられる準備ができる。
- 織る： 全てのハリスツイードは各織工の自宅で足踏織機によって織られる。
- 仕上げ： 汚れをとり、しわをとり切りそろえ完成。
- 認証： オーブの商標をツイードに付ける前にハリスツイード協会によって検査される。

## ★歴史

- 1846 年： レディ・ダンモアがハリス島の職人にマレイ・タータンをツイードで織らせる。  
出来が良く周囲の評判も良好であった。また彼女の熱心な営業、生産方法改善により更に売り上げを伸ばし、ロンドンでも販売されるようになる。
- 1903 年 - 1911 年： ハリスツイードは社交界での需要も増えていくようになり 1903 年から 1906 年の間に北のルイス島でツイードを織る産業が本格化した。  
増え続ける注文に対応するために新しい設備が作られた。  
また模造品から保護するために 1905 年に制定された登録商標法に基づきハリスツイードの名前の登録を申請。1909 年に登録され、1910 年に付与された。  
そして 1911 年からストーンウェイ会議で定められた紡績機械によって作られハリスツイード協会によって認められたもののみオーブの商標が与えられるようになる。
- 1990 年代： 1990 年代初頭には二重幅織機、織工の再訓練など新しく、より厳しい品質基準を導入した。  
それによってより柔らかく、軽いツイードを作ることで近代化に着手した。  
1993 年にイギリス国家は伝統的な織物の衰退を避けるため、ハリスツイード条例を制定する。  
ハリスツイードの技術や製品は国際的な保護のもとに置かれるようになる。
- 2011 年： オーブの商標を使用してから 100 周年の記念として限定のブラックレーベルが作られる。